

栄養青森21



第40号（通号第58号）発行日 2020年8月 発行者 (公社)青森県栄養士会 斎藤 長徳 編集 広報部
青森市長島2丁目18-8 TEL 017-735-7003 FAX 017-735-7005
ホームページ <http://aomori-eiyo.or.jp> e-mailアドレス eiyou@trust.ocn.ne.jp



田子町 みろくの滝

| | |
|----------------------------|----|
| 定時総会報告 & 新型コロナウイルス感染拡大防止対応 | 2 |
| 日本人の食事摂取基準(2020年版) 改定 | 6 |
| 食 あおもり「ジュノハート」 | 8 |
| 新役員紹介 | 9 |
| Information 理事会だより他 | 10 |

定時総会報告＆新型コロナウイルス感染拡大防止対応

会員の皆様には、未曾有のコロナ禍の中、業務に生活にご苦労されていることと拝察いたします。ご承知のとおり本会におきましても、栄養学術研究会の中止、定時総会の縮小開催を余儀なくされ、生涯教育を始めとした前期事業については、ほぼ中止とさせていただきました。皆様には、ご協力に感謝申し上げ、ご理解のほどお願いいたします。

ここに縮小開催の定時総会報告と本会の新型コロナウイルス感染拡大防止対応について、これまでの対応と今後の対応についてお知らせしたいと思います。

★令和2年度 定時総会報告（5月30日 13：15～14：40 青森県観光物産館アスパム）

定時総会は、地元自治体の要請により会場を変更し、プログラムを縮小し、あいさつは会長のみ（一部掲載）、祝電披露を日本栄養士会会长のみの電文を読み上げ、さっそく議事進行した。議長は、平木裕香会員（青森地区）、出席者数 375名（当日出席30名、委任出席345名、会員数581名）で総会成立宣言を行い、まず選挙管理委員長の小林幸子会員（委員；倉光美佳会員 佐々木春香会員）より発言が求められ、議案第2号の理事及び監事選任の件について選任方法の説明があり、総会出席者による投票が行われた。続いて議案第1号、令和元年度収支決算の件について、事業報告を含めて総会資料に基づき提案がされ、承認多数により原案どおり承認された。次に協議事項、令和2年度事業計画及び予算について総会資料に基づき提案され、コロナ禍による事業計画の変更および今後の変更もありうるとして説明がされた。その後、選挙管理委員会より立候補者全員の当選の結果が公表された。総会は終了とし、直ちに新理事による臨時理事会が開かれ、別記のとおり代表理事等を決め、参加者に報告し散会とした。

| 役職名 | 氏名 | 担当 | 所属地区・職域 |
|---------|-------|------------|----------|
| 会長 | 齋藤長徳 | 総括 | 弘前・研究教育 |
| 副会長 | 柴崎政孝 | 広報・研修 | 弘前・医療 |
| 副会長(地区) | 伊藤恵美子 | 事業・栄養CS・八戸 | 八戸・医療 |
| 専務理事 | 浅利由美子 | 総務 | 青森・学校教育 |
| 一般理事 | 中村広美 | 広報部長 | 青森・公衆衛生 |
| 一般理事 | 清水亮 | 研修部長 | 青森・研究教育 |
| 一般理事 | 木村誠子 | 栄養CS部長 | 八戸・地域活動 |
| 一般理事 | 森山洋美 | 事業部 | 青森・研究教育 |
| 地区理事 | 蝦名宏美 | 青森・研修 | 青森・医療 |
| 地区理事 | 築館寛子 | 弘前・総務 | 弘前・福祉 |
| 地区理事 | 古川寛美 | 五所川原・栄養CS | 五所川原・医療 |
| 地区理事 | 横山敏久 | むつ・広報 | むつ・地域活動 |
| 地区理事 | 白山八千代 | 上十三・広報 | 上十三・医療 |
| 職域理事 | 石岡拓得 | 医療・事業 | 弘前・医療 |
| 職域理事 | 大川春枝 | 学校教育・総務 | 上十三・学校教育 |
| 職域理事 | 川守康予 | 勤労者支援・広報 | 青森・勤労者支援 |
| 職域理事 | 前田朝美 | 研究教育・研修 | 弘前・研究教育 |
| 職域理事 | 盛美咲 | 公衆衛生・事業部長 | 青森・公衆衛生 |
| 職域理事 | 齊藤佳久子 | 地域活動・栄養CS | 弘前・地域活動 |
| 職域理事 | 齋川成夫 | 福祉・総務部長 | 弘前・福祉 |
| 監事 | 三上広美 | 外部幹事 | |
| 監事 | 平野聖治 | | |
| 顧問 | 吉川和子 | | |
| 参与 | 鶴賀晃 | | |

・定時総会会長あいさつ（一部抜粋）

本日はコロナ禍のなか、お集まりいただきありがとうございます。

まずもって、総会をこのような状況下でも、開催いたしましたのは、本会は定款上、書面表決の条項を設けておらず、書面表決だけでは、総会事項の採択に至れないことと今年度は役員改選もあり、縮小してでもこの総会を開催する必要があると判断いたしましたこと、何卒ご理解いただきたいと思います。

今回の協議事項である新年度事業計画・予算は3月の理事会での承認事項であり、新型コロナの感染拡大防止対応で、今年度前半の事業計画は、ほぼ中止になっており、来週の理事会などで、今後の事業について見直すこととしていることをご承知おきください。なお、その際の広報については、ホームページ等を活用して随時行いたいと考えておりますので、この機会にさらにホームページの活用をよろしくお願いいたします。さらに申し上げれば、今年度の日本栄養士会の総会は、WEB会議、栄養士大会はホームページ上のオンライン開催となります。

さて、このコロナ禍のなかでも、我々栄養士・管理栄養士は、その業務の中で多くの時間を栄養管理や栄養相談、栄養教育と人と対面的に向き合う業務を行っており、大変困難な場面もあるかと思います。でもそのような時だからこそ、前向きに対応して、業務を行っていくことで、我々の存在がアピールできると考えています。日本が新型コロナウイルスによる致死率が極端に低いのはご承知のとおりですが、その理由は、医療体制が整っていることもありますが、そもそも日本人の栄養状態が普段から良好であるからでないでしょうか。昨今の中中国の論文では、低栄養状態患者の死亡者の割合が高いこと、アメリカの論文では、肥満者の重症化率、人工呼吸器の装着率が高いことが報告されています。このことは日本の致死率の低さは日本人の栄養状態と関連付けられることではないでしょうか。我々は、普段の業務に自信を持ち、対象者に、県民に、国民にさらに「栄養」を意識していただくように働きかける必要があります。これからも「Withコロナ」コロナとの共生を考えながら業務に励み、前に進みたいと思います。

こんなご時世でも、栄養士会は会としての責務を果たしたいと考えています。今年度も重点課題を掲げ、その活動をしてまいります。その内容は、追ってご提示させていただきますが、基本的には令和元年度の活動の継続や評価・見直しを行いながら、さらに積極的に推進していくとともに、10ヵ年計画の後半となる減塩プロジェクト事業に一層の拍車をかけたい。また地域包括ケアシステム体制への積極的な参画を図り、他職種との連携を推し進め、対象者への栄養ケアを充実させる活動をさらに展開し、栄養士・管理栄養士のアピールにも努めたい。「栄養の日・栄養週間」の普及や災害時の対応JDA-DAT活動にも努めるとともに、組織力の基盤である会員増に向けた取組みも継続して推し進めたいと考えています。県栄養士会として、さまざまな栄養課題に積極的なかかわりをもって、公益社団法人として県民の栄養改善、健康の保持増進、生活習慣病の予防・改善、会員の知識や社会的位置づけの向上に寄与していきたいと思います。

皆様のご協力とご理解を今後ともよろしくお願いいたします。今日は、ありがとうございます。



★本会のこれまでの対応 (*情勢 ○本会対応)

* 1/16 国内初の感染者発表、

2/5 ダイヤモンドプリンセス号の船上隔離、

2/27 首相が全国の学校に臨時休校を要請

○ 3月14日 第5回理事会において、次年度の事業計画・予算を審議し承認したが、今後の新型コロナウイルスの動向を見極めながら、三役で協議し理事に諮り、会員に書類発送やホームページで周知しながら事業を進めることにした。また各部会、職域会に申送りの提出を促した。

* 3/23 青森県内感染者発生

○ 3月24日 三役による今後の会議を含めた事業等の日程および内容確認。（定款および細則に、書面表決に係る事項の記載なしを確認、今後の三役会議は原則メール会議とすることを決定。理事会の縮小、総会および栄養学術研究会の1日開催を協議）

○ 3月27日 理事に対し総会及び栄養学術研究会までの事業内容案をメール提示、協議、決定する。

○ 4月1日 会員宛ホームページにて総会および栄養学術研究会の1日開催を会員に広報する。

* 4/7 政府が緊急事態宣言を発出、

○ 4月10日 令和元年度事業および会計監査（県栄養士会事務所）

○ 4月10日 三役会議（コロナ感染対応での今後の事業運営他について）

○ 4月10日 選挙管理委員会（メール会議、選挙告示案を提示し意見を求め、選挙告示を決定する。）

* 4/16 緊急事態宣言全国に拡大

○ 4月25日 理事会はメール会議で開催。減塩委員会、各部会は中止。栄養学術研究会の中止、総会の縮小開催、生涯教育8月まで中止決定。

○ 4月28日 会員への定時総会資料および各種案内文書発送。

* 5/14 緊急事態宣言39県で解除 5/25 緊急事態宣言全国解除

○ 5月20日 選挙管理委員会 立候補者資格確認および届受理（県栄養士会事務所にて、縮小開催）

○ 6月1日 三役会議（オンライン会議）6月理事会の運営を協議

○ 6月6日 新理事会（メール会議）新理事の業務担当、メールによる担当割を行い、申送り対応の意見を求めた。初任者研修の中止、コロナ対応方針（フェーズ対応）の策定を検討

○ 6月11日 県民向け新型コロナウイルス感染症予防の栄養リーフレットの作成及びホームページへアップ

○ 6月15日 三役会議（オンライン会議）今後の事業を協議

* 7/10 青森市内で感染者2名発生、7/11、7/16と各発生

○ 7月10日 10月31日予定の「健康づくり提唱のつどい」中止とする。

・このような状況の中ではありますが、一日も早い新型コロナウイルス感染症の終息と会員の皆さまのご健康をお祈り申し上げます。何かと不便の多い今日ですが、この状況が一日も早く解消され、平穏な日々が戻りますように。

この対応方針は、事態の進展に応じた基本的対応を、各フェーズごとに示すものであり、実際の対応については都度本部で協議し決定する。
感染症の流行は、発生→拡大→蔓延→終息→平常化といった展開が想定されるため、その局面を勘案し作成した。ただしワクチンや治療薬の利用は考慮されていない。

| レベル | 感染症発生状況(第2派含む) | 想定される自治体等の対応 | 本部 | | | 地区会 | 職域会 | その他 |
|---|--|--|------|------|------|-----|-----|-----|
| | | | 主催事業 | 各種会議 | 協力事業 | | | |
| フェーズ1 (小) →国内で発生 →国では、地域限定で発生 | 県内では未発生 →県内1日当たりの発生者名は極めて感染者ルート不明者0名程度で感染者や協力を呼びかけ | ・感染拡大防止の行動 ・主催者の意向により、個別に判断(対策の有無) | ○ | ○ | △ | ○ | ○ | △ |
| フェーズ2 (中) →国内拡大傾向 →国内発生の減少・継続 | 県内発生は限定的 →県内1日当たりの発生者数は3名程度で感染者ルート不明者は3名程度 →県内1日当たりの発生者数0名で、週単位で継続 | ・行動自粛要請が継続 ・緊急事態宣言の解除 ・感染拡大防止対策を行った上で個別に判断する | △ | ○ | △ | △ | △ | △ |
| フェーズ3 (大) →国内発生の減少、発生数0名の地域増加 | 県内発生は限定的 →県内1日当たり0名が継続 | ・県が緊急事態宣言を実施(他県含む) ・強く行動自粛要請が継続 ・施設管理者に使用停止の要請 | × | △ | △ | × | × | × |
| フェーズ4 (最大) →国内は蔓延中 →国内発生の減少、発生数0名の地域出現 | 県内拡大傾向 →県内1日当たり0名となる | ・特定警戒県に指定 ・緊急事態宣言を実施 ・強行行動自粛要請が継続 ・施設管理者に使用停止の要請 ・県外への移動自粛 | × | × | × | × | × | × |

1) クのマークは感染拡大中、△のマークは感染終息中

2) 感染拡大防止対策とは、

- ①以下の方の参加をご遠慮いただく。
・1週間に内に37.5度以上の発熱のあった方、コロナ感染の症状が疑われる方、妊娠婦の方。
- ②参加者は、・マスクの着用(移動時含む)、・咳エチケットや手洗いの励行(アルコール手指消毒)、・通常1席飛ばしたゆったりとした座席の確保など十分な距離を確保する。
- ③室内換気を1時間に2回程度行う。
- ④主催者は参加者を把握する。
- ⑤その他、自治体等の指示を遵守する。

日本人の食事摂取基準（2020年版）改定

日本人の食事摂取基準（2020年版）の改定では、これまでの生活習慣病（高血圧、脂質異常症、糖尿病、慢性腎臓病）の重症化予防に加え、高齢者の低栄養・フレイル防止を視野に入れて検討がなされました。

改正された栄養素は多くありますが、今回は一部を御紹介します。食事摂取基準はまず総論に目を通してから各論や数値を理解することが求められます。食事摂取基準の活用として、「同じ指標（推定平均必要量、推奨量、目安量、目標量及び耐容上限量）であっても、栄養素の間でその設定方法及び活用方法が異なる場合があるので注意を要する」と記載されています。各指標の定義や注意点は総論にありますので、これらを熟知したうえで各論の活用を図りましょう。

<改正のポイント>

- ・高齢者の低栄養及びフレイル予防も視野に入れて策定
- ・高齢者について、政策的視点からより細かな年齢区分を設定
- ・目標量について、エビデンスレベルを記載
- ・小児について、一部未設定となっている摂取基準を設定
- ・「対象別特性」と「生活習慣病とエネルギー・栄養素との関連」を各論の一部として構成

【策定方針】策定の目的に「高齢者の低栄養・フレイル予防」が追加されました。

2015年版

健康の保持・増進
生活習慣病の発症予防
生活習慣病の重症化予防

2020年版

健康の保持・増進
高齢者の低栄養予防・フレイル予防
生活習慣病の発症予防・重要化予防

【年齢区分】高齢者の年齢区分が変更され、前期高齢者と後期高齢者が区分されました。

年齢区分

50～69

70以上

年齢区分

50～64

65～74（前期高齢者）

75以上（後期高齢者）

【目標BMI】フレイル予防を考慮し、65～69歳の目標とするBMIの範囲の下限が引き上げされました。

年齢(歳)　目標とするBMI (kg/m²)

18～49　18.5～24.9

50～69　20.0～24.9

70以上　21.5～24.9

年齢(歳)　目標とするBMI (kg/m²)

18～49　18.5～24.9

50～64　20.0～24.9

65～74　21.5～24.9

75以上　21.5～24.9

【たんぱく質】フレイル及びサルコペニアの発症予防を考慮し、50歳以上の目標量の下限値が引き上げられました。

年齢(歳)　目標量：%エネルギー

1～　13～20

年齢(歳)　目標量：%エネルギー

1～49　13～20

50～64　14～20

65～74　15～20

75以上　15～20

【食物繊維】3～5歳についても成人と同じ方法で算定しました。

性別　男性　女性

年齢　目標量　目標量

3～5　－　－

6～7　11以上　10以上

8～9　12以上　12以上

10～11　13以上　13以上

12～14　17以上　16以上

15～17　19以上　17以上

18～29　20以上　18以上

30～49　20以上　18以上

50～69　20以上　18以上

70以上　19以上　17以上

性別　男性　女性

年齢　目標量　目標量

3～5　8以上　8以上

6～7　10以上　10以上

8～9　11以上　11以上

10～11　13以上　13以上

12～14　17以上　17以上

15～17　19以上　18以上

18～29　21以上　18以上

30～49　21以上　18以上

50～64　21以上　18以上

65～74　20以上　17以上

75以上　20以上　17以上

【コレステロール】 脂質異常症の重症化予防を目的とした量が新たに設定され、200mg/日未満に留めることが望ましいこととなりました。

【ナトリウム（食塩摂取量）】 食塩相当量の目標量が引き下げられました。高血圧及び慢性腎臓病（CKD）の重症化予防のための食塩相当量の量が追加され、男女とも6.0g/日未満となりました。

| 性別 | 男性 | 女性 |
|-------|-------|-------|
| 年齢 | 目標量 | 目標量 |
| 1～2 | 3.0未満 | 3.5未満 |
| 3～5 | 4.0未満 | 4.5未満 |
| 6～7 | 5.0未満 | 5.5未満 |
| 6～9 | 5.5未満 | 6.0未満 |
| 10～11 | 6.5未満 | 7.0未満 |
| 12～14 | 8.0未満 | 7.0未満 |
| 15～17 | 8.0未満 | 7.0未満 |
| 18～29 | 8.0未満 | 7.0未満 |
| 30～49 | 8.0未満 | 7.0未満 |
| 50～69 | 8.0未満 | 7.0未満 |
| 70以上 | 8.0未満 | 7.0未満 |



| 性別 | 男性 | 女性 |
|-------|-------|-------|
| 年齢 | 目標量 | 目標量 |
| 1～2 | 3.0未満 | 3.0未満 |
| 3～5 | 3.5未満 | 3.5未満 |
| 6～7 | 4.5未満 | 4.5未満 |
| 8～9 | 5.0未満 | 5.0未満 |
| 10～11 | 6.0未満 | 6.0未満 |
| 12～14 | 7.0未満 | 6.5未満 |
| 15～17 | 7.5未満 | 6.5未満 |
| 18～29 | 7.5未満 | 6.5未満 |
| 30～49 | 7.5未満 | 6.5未満 |
| 50～64 | 7.5未満 | 6.5未満 |
| 65～74 | 7.5未満 | 6.5未満 |
| 75以上 | 7.5未満 | 6.5未満 |

【ビタミンD】 多くの人が欠乏又は不足している可能性があり、目安量が引き上げされました。ビタミンDの摂取については、日照時間を考慮に入れることが重要であるとされています。

| 性別 | 男性 | 女性 |
|-------|-----|-----|
| 年齢 | 目標量 | 目標量 |
| 1～2 | 2 | 2 |
| 3～5 | 2.5 | 2.5 |
| 6～7 | 3 | 3 |
| 8～9 | 3.5 | 3.5 |
| 10～11 | 4.5 | 4.5 |
| 12～14 | 5.5 | 5.5 |
| 15～17 | 6 | 6 |
| 18～29 | 5.5 | 5.5 |
| 30～49 | 5.5 | 5.5 |
| 50～69 | 5.5 | 5.5 |
| 70以上 | 5.5 | 5.5 |



| 性別 | 男性 | 女性 |
|-------|-----|-----|
| 年齢 | 目標量 | 目標量 |
| 1～2 | 3.0 | 3.5 |
| 3～5 | 3.5 | 4.0 |
| 6～7 | 4.5 | 5.0 |
| 8～9 | 5.0 | 6.0 |
| 10～11 | 6.5 | 8.5 |
| 12～14 | 8.0 | 9.5 |
| 15～17 | 9.0 | 8.5 |
| 18～29 | 8.5 | 8.5 |
| 30～49 | 8.5 | 8.5 |
| 50～64 | 8.5 | 8.5 |
| 65～74 | 8.5 | 8.5 |
| 75以上 | 8.5 | 8.5 |

【フレイル予防の記載が追加】

たんぱく質 フレイル改善のためのたんぱく質量について結論は出ていない。

カルシウム フレイルに関係すると考えられるが予防のための量を設定するには根拠不足。

ビタミンD 骨折予防に寄与している可能性が考えられる。フレイル予防を目的とした量を設定するには科学的根拠がない。日光浴を心がけることを推奨。

【目標量】 目標量に限ってエビデンスレベルが新たに設定されました。

| エビデンス レベル | 数値の算定に用いられた根拠 | 栄養素 |
|--------------|--|------------------------------------|
| D 1 | 介入研究又はコホート研究のメタ・アナリシス、並びにその他介入研究又はコホート研究に基づく | たんぱく質、飽和脂肪酸、食物繊維、ナトリウム（食塩相当量）、カリウム |
| D 2 | 複数の介入研究又はコホート研究に基づく | - |
| D 3 | 日本人の摂取量等分布に関する観察研究（記述疫学研究）に基づく | 脂質 |
| D 4 | 他の国・団体の食事摂取基準又はそれに類似する基準に基づく | - |
| D 5 | その他 | 炭水化物 |

食あおもり サクランボの新品種“ジュノハート/Junoheart”



先日立ち寄った道の駅で初めて見ました。実物のジュノハート！

まだまだ高価で手がとどきませんが、昨年6月に全国デビューに先駆けて、県内で販売し、今年の7月1日、全国デビューとなりました。今回は、テレビや新聞で話題となった青森県生まれの新品種のサクランボをご紹介します。

ジュノハートという名前の由来は、家庭の幸福をつかさどるローマ神話の女神“Juno”と、ハート形の果実から命名されたとのこと。

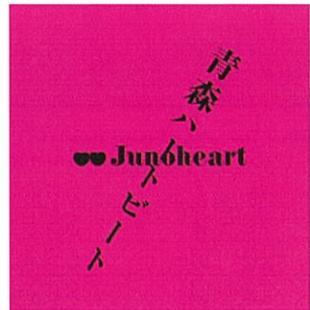
着手から24年の歳月をかけて開発したジュノハートの収穫時期は、7月上旬から中旬で、甘味の強い「紅秀峰」と果実が大きい「サミット」を交配して誕生しました。大玉の果肉、約20度ある高い糖度とわずかな酸味、ルビーやワインレッドのような色合い、種が果肉から離れやすい性質を持つ品種で、南部町を中心に栽培されています。

ジュノハートのサイズは、さくらんぼ界のビッグブランド佐藤錦（2L：横径25～28mm未満）より1サイズ大きい3Lサイズ（横径28～31mm未満）です。500円硬貨の直径が26.5mmですから、1粒の食べ応えも十分ではないでしょうか。

そして、ジュノハートの中でも、もう1サイズ大きい4Lサイズ（横径31mm以上）で、「秀」「特秀」と品質検査で認められたものは、「青森ハートビート」としてブランド化されています。

6月30日に八戸市の中央卸売市場で青森ハート

ビートの初競りが行われ、あまりの人気のせいか最高値は15粒入り1箱が30万円の値段がつきました。なんと1粒2万円です。



(青森ハートビートロゴマーク)

まだ市場に出回る数は少ないもののジュノハートは一粒300～500円ほどでしょうか。町で購入し学校給食に提供したり、県内でスイーツの食材として利用されている新聞記事が掲載されていました。

当面、ジュノハートの苗木は県内限定販売、県内栽培となっています。購入するにはまだ少しお高めですが、インスタ映えしそうな色や形も相まって、来年以降も人気上昇間違いなしです。



鮮るをばこぶ

生鮮品から加工品まで
業務用食材料の全品揃え

合 株式会社 メマイシ
物流センター

〒030-0136 青森市大字牛館字松枝52番地1
食品部 代表 TEL 017-764-2700 FAX 017-764-2711
給食 TEL 017-764-2701 FAX 017-764-2711
八戸支店ナカイシ 〒031-0801 八戸市江陽4丁目16番16号
TEL 0178-43-3236 FAX 0178-43-3225

新理事紹介

一般

木村誠子

一般

森山洋美



この度、初めて理事という大役をつとめさせていただくことになりました。わからない事ばかりで不安でございますが、皆様のお力を借りて少しずつ頑張っていきたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。



今年度より、研究教育職域より理事となりました。初めてのことでの不安なことが多いですが他の役員の方々のお力を借りし、会員の皆様や栄養会に貢献できるよう努めていく所存ですので、どうぞよろしくお願ひいたします。

青森地区

蝦名宏美



この度、青森地区より理事をさせていただくことになりました。このような大役をいただいたプレッシャーは非常に大きいですが、地区会役員初め皆様のご協力をいただきながら、地区会の発展に貢献できるよう頑張ります。よろしくお願ひします。

地域活動

齊藤佳久子



このたび地域活動職域から理事にさせて頂きました、齊藤です。会員歴は長いものの分からないうちが多く、理事という大役を務められるかとても不安ですが、皆様のお力を借りながら、頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願ひいたします。

研究教育

前田朝美



この度、研究教育職域会からの理事となりました前田です。これから社会で活躍する栄養士・管理栄養士を養成する職域の特徴を活かしつつ、栄養士会の発展に努めたいと考えております。どうぞよろしくお願ひ致します。

厚生省・農林水産省認可



全国病院用食材卸売業(協)

業務用総合食品卸商社

株式会社 嶋津商店

青森市自由ヶ丘2丁目15番3 TEL(017)744-0011(代) FAX(017)744-0012

栄養の日

たのしく食べる、カラダよろこぶ

日本栄養士会

**「栄養の日・
栄養週間2020」**
栄養の日 8/4**栄養週間 8/1-7**

『栄養をたのしむ -「栄養のチカラ」で、
感染症に負けない!-』

を統一テーマに、オンラインで開催いたします。

期間：8月1日(土)～7日(金)

を中心とした6月～8月

詳しくは、日本栄養士会ホームページで。

**病院用食材の提供を通じ、
医療・介護に貢献致します。**

厚生労働省・農林水産省認可
全国病院用食材卸売業協同組合

JAPITAL FOODSは全国病院用食材卸売業(協)の安全と信頼のロゴマーク！

給食用・病院用食材卸売

下沢食品株式会社

八戸市北白山台2丁目2-10 八戸流通センター内

TEL: 0178-27-0370 FAX: 0178-27-3648

Information ☆

令和元年度第5回理事会

令和2年3月14日(土)開催

1 報告事項

(1) 県受託事業「健やかレシピ試食会」のレシピ開発について

(2) 日本栄養士会諮問会議について

(3) 各部会から

(4) 各地区会から

(5) 各職域会から

DA-DATの増員の必要性、定時総会並びに栄養学術研究の日程、栄養ケアステーション運営規定の見直し等について報告があった。

2 協議事項

(1) 令和2年度事業計画について

(2) 令和2年度事業予算について

(3) 令和2年度定時総会ならびに栄養学術研究会について

(4) 令和2年度祝賀会および情報交換会について

(5) 役員改選について

(6) 会員増対策について

減塩プロジェクト、地域包括支援、栄養の日・週間等、来年度の事

業を進めていきたい。栄養ケア活動支援整備事業は来年度、青森地区とむつ地区を計画している旨追加説明された。

また、新採用の栄養士・管理栄養士に栄養士会への入会を勧めてほしい旨依頼があった。

令和2年度第1回理事会 (web会議)

令和2年4月25日(土)開催

第1回理事会は新型コロナウイルス感染の感染拡大を考慮しWeb会議で行われた。

1 協議事項

・令和元年度補正予算、事業および決算について承認された。

・監査について承認された。

・令和2年度定時総会並びに栄養学術研究会について三役一任とされた。

令和2年度第2回理事会 (web会議)

令和2年6月6日(土)開催

1 報告事項

(1) 日本栄養士会第1回諮問会議について

(2) 各部会提案

(3) 各地区から

(4) 各職域から

研修会の日程変更や市町村健康まつり等への参加について、中止も含め日程がまだ決まっていない旨の報告があった

2 協議事項

・各部会編成を提示し各理事の担当を決定した。

・役員改選となったことから、各理事の担当部会を決定した。

・今年度の初任者研修会、減塩親子料理教室は中止することとした。

・栄養ケア活動支援整備事業はむつ地区で11月開催予定とした。

・生涯教育研修会の役割分担を決めた。

・SNSを活用したネットワークづくりについて、重点的に検討すべき課題として継続審議とした。

お知らせ

- 生涯教育研修会は9月から開催予定です。詳細は追ってお知らせします。
- 各職域、各地区会の研修会は決まり次第、通知やホームページでお知らせします。

「パソコン操作の知恵袋」

Snipping Tool(スニッピングツール)

<パソコン画面の必要な場所を範囲指定して、画像として保存する>

「スタート」ボタン→Windows10 アクセサリ→

 Snipping Tool の順にクリックします。

次に「新規作成」をクリックすると、パソコン画面がうっすら曇った状態になります。

あとは、パソコン画面の中の切り取りたい部分をマウスで範囲指定すれば、ワード、エクセル、パワーポイント等に貼り付けできます。

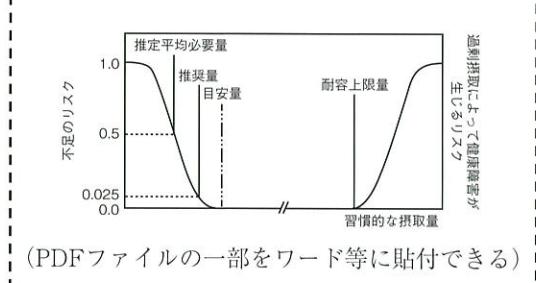
画像ファイルとして保存もできます。

◆PDFファイルの図表をワードに貼り付ける。

◆ネット画面の中の連絡先を画像メモとして使うなど、色々と活用できます。

今後も仕事にちょっと役立つソフトや機能を紹介していく予定です。

(Snipping ToolはWindows10のアップデートで「切り取り＆スケッチ」に代わります)



株式会社
ホームナース

管理栄養士 募集中!!
お問い合わせ: 022-716-2080

トータルライフケアのパートナー



当社では明るく活力ある社会づくりの貢献を目指して、働き盛りの年代、あるいは主婦の方々や高齢者の方々を対象に生活の質（QOL）の向上などを目標に保健指導事業を行っております。

特定保健指導に協力していただける管理栄養士さんを急募しております。

まずは上記までご連絡ください。



本社 広島県広島市東区光町2丁目7-17 第二京谷ビル401号

営業所 宮城県仙台市青葉区宮分町1丁目8-10 大和ビル4階